

DPC制度に係る今後の検討について（案）

前回、平成24年4月25日のDPC評価分科会での検討を踏まえ、次回改定に向けたDPC制度に係る検討事項を次のように整理してはどうか。

1. DPC制度のあり方に係る検討

<考え方>

- 平成24年度診療報酬改定において、DPC制度創設時に導入した調整係数は、今後の改定を経て平成30年に基礎係数と機能評価係数Ⅱに置換えることとされ、今後は基礎係数(医療機関群設定)・機能評価係数Ⅱの評価について、現場への影響を十分に踏まえながら、着実に置換えを進める必要がある。
 - 一方、基礎係数や機能評価係数Ⅱは対象病院の運営に大きな影響を与えることから、前回分科会においても、医療機関群の要件を含めた制度の安定的な運用と、一定の予見性の確保が不可欠との指摘がなされている。
 - これらを踏まえ、基礎係数(医療機関群の要件設定を含む)・機能評価係数Ⅱ(項目及びそれらの評価手法を含む)について、
 - (1) 平成24年度改定後の実績を踏まえた必要な見直しを次回改定時に中医協において検討できるよう対応することとした上で、
 - (2) 次回改定対応の基本方針については、改定に用いるデータの収集を開始する平成24年秋までに一定の方向をとりまとめ、中医協に提案してはどうか。
 - また、DPC(診断群分類)の精緻化等については、改定作業(診断群分類点数表の設定)を円滑に実施する観点から、学会等からの要望を踏まえながら、平成25年秋までに一定の原案をとりまとめ、改定に反映させる(中医協に提案することとしてはどうか)。
- #### <具体的な検討項目>
- 平成24年秋まで
 - ① 基礎係数(医療機関群の要件設定を含む)・機能評価係数Ⅱ(項目及びそれらの評価手法を含む)の次回改定対応に係る基本方針案のとりまとめ

- 平成 25 年秋まで
 - ② DPC(診断群分類)の見直し原案(CCP マトリックスの導入に関する検討を含む)のとりまとめ
 - ③ 基礎係数(医療機関群の要件設定を含む)及び機能評価係数Ⅱ(項目及びそれらの評価手法を含む)の次回改定対応に係る具体案のとりまとめ

2. DPC 制度運用上の課題に対する検討

<考え方>

- 機能評価係数Ⅱの体制評価指数について、これらの確認手順や手続きを効率的かつ円滑に実施する必要があることから、評価項目についてあらかじめ医療機関と地方厚生局・都道府県間で確認した結果を毎年秋に届け出る方式を導入することとし、平成 24 年夏までに確認手順や手続きを明確化してはどうか。
- また、算定ルール等の見直しについては、平成 24 年度改定の影響を踏まえた検討が必要となることから、次回改定時に一定の対応が中医協において検討できるよう、平成 25 年末までに分科会での結論をとりまとめてはどうか。
- 適切な DPC コーディングに関する検討については、次回改定時を目途に一定の対応が可能となるよう、平成 25 年末までに対応案をとりまとめてはどうか。

<具体的な検討項目>

- 平成 24 年夏まで
 - ④ 医療機関別係数の確認手順等の整備
- 平成 25 年末まで
 - ⑤ 算定ルール等の見直し案(入院日Ⅲを超えて実施された検査の取扱い等)のとりまとめ
 - ⑥ 適切な DPC コーディングに関する対応案(コーディングに関するマニュアルの作成、コーディングの現状(質)に関するモニタリング(評価手法)の開発等)のとりまとめ

3. スケジュール（案）

		平成 24 年		平成 25 年				平成 26 年
		6 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
1. DPC 制度 の在り方 に関する 検討	①③基礎係数（医療 機関群の要件設定 を含む）・機能評価 係数Ⅱ（項目及びそ れらの評価手法を 含む）次回改定対応	基本方針		具体案				
	②DPC（診断群分 類）の精緻化							
2. DPC 制度 運用上の 課題に対 する検討	④医療機関別係数の 確認手順等の整備							
	⑤算定ルールの見直 し案							
	⑥適切な DPC コーデ ィングに関する検討							

診療報酬改定